

新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン

I 基本姿勢

- 3つの「密」（①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発生が行われる）を避けた活動とする。
- 北信越中体連ガイドラインに準ずる。

II ゲーム前

- (1) 監督（引率責任者）は、以下の症状のある選手を参加させない。
 - ア 平熱を超える発熱、咳、喉の痛み、だるさ、息苦しさ等がある者
 - イ マスクを準備していない者
- (2) ゲームを行うための着替えや一時的に休息をするときなど、ゲーム以外はマスクを着用する。

III ゲーム中及びその前後

- (1) ベンチ内では選手同士の間隔に十分配慮する。
- (2) 攻守決定、打順表の確認等において本塁に集まるときは、相手と2m以上空ける。また、握手等身体接触を伴う行為は行わない。
- (3) ベンチからの歌唱、声援、大声での会話等は行わない。
- (4) ハイタッチ等身体接触を伴う行為は行わない。
- (5) 鼻水、唾液などが付いたゴミ、使用済みマスク等は持ち帰る。
- (6) 唾や痰を吐かない。

IV 大会運営等

- (1) 役員、審判、記録員、補助員等大会関係者はマスクを着用し、人との間隔を1m以上離す。
- (2) 記録員室等は換気を行う。
- (3) 接触の多い箇所は消毒を行う。
- (4) 無観客開催とする。

(会場が公園であり、選手と観客、一般利用者の動線を区別することが極めて困難であるため。)

- ・アップ会場以外での選手の待機は隣接するドーム内のみとし、公園一般利用者と接触しないようにする。(会場までの動線を制限する)
- ・登録外選手の会場への入場を認めるが、登録外選手は観客席で密にならないように応援する。フェンス付近(観客席を含む)をローピングし、施設利用者がロープ内に入らないようにする。